



令和7年5月30日
 町田市立図師小学校
 3学年だより 6月号
 第3学年担任

梅雨の季節が近づいてきました

日差しが強くなり、一日一日と日ごとに夏が近づいているのを感じます。子供たちは一層元気に外に出て遊ぶ姿を見せています。先日はご多用の中、学校公開にご来校いただき、ありがとうございました。子供たちは、初めての授業参観だとはりきっていました。それぞれでがんばっている子供たちの様子をご覧いただけたのではないかと思います。

さて、明日は「図師っこまつり」があります。今年度は、初めてお店を開きます。学年合同で3つのお店に分かれて活動します。各店舗の店長さん、副店長さんも決まり、仕事の役割分担をしたり材料を集めたりして、本番に向けて張り切っている3年生です。当日はぜひ3店舗ともご来場ください。

6月の行事予定

※「モ」「計」…8:20からの15分間。
 「モ」は漢字・言語モジュールが、「学」はズシ学タイムがあります。

月	火	水	木	金	土
					31 特④ 図師っ子まつり (給食なし)
2 振替休業日	3 学⑥ 安全指導 体力テスト始 給食費引き落とし日 PTA 集金日	4 特④	5 ⑥ 給食委員会集会	6 特⑤ 体力テスト終 放課後英語教室	7
9 ⑤ 全校朝会 水泳指導始	10 学⑥	11 モ⑤	12 ⑥ 体育委員会集会 避難訓練	13 モ⑤ 放課後英語教室 個人面談調査希望×切	14
16 ⑤ 全校朝会	17 学⑥	18 モ⑤	19 ⑥ たてわり班活動 (ショート)	20 特⑤	21
23 モ⑤	24 学⑤ 保護者会	25 モ④	26 ⑥ ゲーム集会	27 モ⑤ 歯科保健指導	28
30 ⑤ 全校朝会	7/1 学⑥ 安全指導 避難訓練 農家見学(予定)	2 モ⑤	3 ⑥ 美化委員会集会	4 特⑤	5

6月の学習予定

🌟🌟 持ち物には全てに記名をしましょう。🌟🌟

国語	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場 まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉をつかいこなそう 引用するとき
社会	市の様子 農家の仕事
算数	たし算とひき算 ふりかえろうつなげよう 表とグラフ
理科	チョウを育てよう 植物を育てよう 風やゴムの力
音楽	リコーダーのひびきに親しもう
図工	ペタンペタンハウス
体育	体力テスト 鉄棒運動 水泳 プレールボール
道徳	よりよい学校生活、集団生活の充実 友情、信頼 善悪の判断、自立、自由と責任
総合	かいこを育てよう
外国語	How many? 数えてあそぼう I like blue. すきなものをつたえよう



★お知らせとお願い★

◆個人面談調査希望について◆

来週、個人面談希望調査を配布いたします。全員の希望調査が集まり、兄弟姉妹関係の調整をした上、担任より日程表を配布いたします。なお、出張等担任の都合により、日付や時間帯に違いが出ることがあります。ご了解ください。

備考欄には兄弟姉妹関係のクラスと、何かご相談されたいことなどがあれば、お書きください。
6月13日(金)までにご提出ください。ご多用中大変申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

※個人面談の予定を決定し、配布するのは、6月27日(金)の予定です。

◆図師っ子まつり◆

5月31日(土) 図師っこまつり
4時間授業(給食なし)

図師っこまつりは、全校で実施します。

「わく☆きら☆楽しい 図師縁日」

店1 射的づくり

店2 お面づくり

店3 お祭りグルメキーホルダー



◆農家見学について◆

日時 7月1日(木) 予定

持ち物 水筒 帽子

社会科の学習で町田市の農家について学習をします。仕事の様子や工夫、大変さなどを、実際に農家の方からお話を伺います。暑さが心配されますので、熱中症対策にご協力お願いします。



◆保護者会について◆

日時 6月24日(火)

14:45~

場所 各教室

詳細は、後日お知らせします。

(裏面に続く)

◆水泳指導が始まります◆

6月9日(月)より水泳指導を行います。3年生は、火曜日の3・4時間目と木曜日の1・2時間目が指導日になります。

水泳帽子、プールカード、タオルを忘れると入れません。プールカードに検温、おうちの方のサインが記入されてなくても入れません。(連絡帳へ同内容が記載されている場合は可)

詳細は、先日配布された「水泳指導のお知らせ」にてご確認ください。



◆総合「かいこを育てよう」について◆

現在、3年生では、総合的な学習の時間において、カイコの飼育を行っています。今後、生育段階に合わせて児童一人一人にカイコのお世話をしてもらう予定です。つきましては、週末にカイコとカイコのえさとなる桑の葉を各ご家庭に持ち帰り、えさやりとそうじをすることになりますのでよろしくお願いいたします。ご理解、ご協力お願いいたします。

☆ 桑の葉のやり方

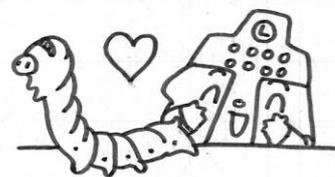
・1日2回程度、桑の葉を2~3枚ずつあげる。(桑の葉は軽く水で洗い流し、水分をよく拭きとってください。水分が残っているとカイコが弱ってしまうことがあります。)

※くわの葉は、ラップに包んで冷蔵庫に入れておくとよいです。

☆ そうじの仕方

1日1回行う。

- ① 新しい桑の葉に、カイコをうつす。
- ② 古い桑の葉とカイコのふん、下にしいてある紙を捨てる。
- ③ 新しい紙をはこにしく。
- ④ カイコと新しい桑の葉(2~3枚程度)をはこに入れる。



※カイコが眠(みん:頭をあげて動かない状態)の場合は、十分に注意してえさやり・掃除を行います。(そーっと。そーっと動かす。)

※できるだけ、カイコにさわらないようにしてください。

※カイコは、直射日光に当たらないところに置いてください。

資料

養蚕の歴史は、約5000年前の中国が始まりと言われていました。絹織物は、中国の貴族だけが求められる貴重な高級品でしたが、絹の美しさにひかれた人々は、その絹を求めて中国へ交易に行ったといわれます。その交易路を「シルクロード・絹の道」と言ったのです。「絹の道」は「ローマから奈良まで」という説もあるぐらい広範囲にわたり、多くの国々に養蚕技術を広めました。日本の生糸は、長野方面から八王子、町田を通り、横浜港から世界へと輸出されました。生糸は馬や人力により八王子から南下し、「遣水峠」を越え、田端、小山を抜け、境川沿いに原町田に出て横浜港へと向ったといわれます。日本は、世界最大の蚕糸国となり高品質な生糸を欧米諸国へ輸出し、日本の近代化を支えました。